

花 橘

発行日

令和7年8月22日

第6号

発行・編集

三崎高校総務課

「一歩踏み出せたら、もう一歩も踏み出せる。」

進路課長 徳川 裕太

まずは、七月二十日～二十五日の四日間、生徒、教職員、保護者、地域の方々の協力のおかげで夏季補習が実施できたことをこの場を借りて、お礼申し上げます。本当にありがとうございます。計画中の冬季補習をより良いものにできるように、もし要望があれば、担任の先生を通じてでも構いませんので、何なりとお申し付けください。

三年生は夏休み期間中、今までで一番勉強できた期間を過ごすことができたのではないかと思います。ただ、「もつとできたはず」や「こうしておけばよかった」など後悔している人もいるかもしれません。そのような人は過去をあまり振り返らず、これからスタートすればいいです。「反省はしても後悔するな」ということを大切に、二学期は進路実現に向けて本当に大変な時期ですが、目の前のことを一つ一つ丁寧にこなしていってほしいです。このようなことを書いている私もやらないといけないことをやることができず、後悔ばかり重ねていたことを思い出します。そんな私の意識が大きく変わったのは三年前、「地理を中心に授業をしてほしい」と要望があったときです。今では一番自信がある科目ですが、当時の私は地理を教えることに不安の気持ちでいっぱいでした。多くの先生の支えがあって、覚悟を決めた私は本格的に地理の世界に飛び込みました。最初の一年間は「分かりづらい」という意見が多く寄せられ、結果につながらない日々が続き、辛い日々を過ごしましたが、最後の年にはどのクラスの授業も約九割の生徒に「とても分かりやすい」、「分かりやすい」と答えてもらえる授業ができるようになり、地理が得意な生徒が増え、中には共通テストで八十点以上取れた生徒も数人いて、少し自信になりました。

自分には「できない」と思っていることでも少しやってみれば案外できるかもしれません。大切なのは先入観を持ち過ぎず、やると決めたら「やりきること」です。私は三十代になってようやく変わることができましたが、みなさんは十代、変わるチャンスは何度でもあります。確固たる目標が決まったら、そこに向かって、やるべきことをやり続けてください。君たちにとって、より良いものをもたらす結果につながると考えています。

最後に、上手くいかないことが続き、悩みが尽きない日々を過ごしている人もいます。そんな時は一人で抱え込み過ぎず、周りの人たちを頼ってください。共に頑張れる仲間がいるから負けそうになっても頑張れるのだと思います。一、二年生の皆さんもなるべく早めに自分の「やりたいこと」を決めて、一歩踏み出してみてください。そうすれば、見える世界が変わるはず。三崎高生の検討を祈ります。応援しています。

地域イベントの参加

7月27日（日）に、未咲輝ゼミ Café to 燈人のメンバーが「きなはいや伊方まつり」に出展しました。せんたんコーヒーや佐田岬灯台のキャラクターであるあかりんファミリーのグッズなどを販売しました。また、8月3日（日）に、伊方町や八幡浜市に住む生徒の有志が「瀬戸の夕風まつり」に参加しました。本校の卒業生と三崎地区の菓子店が共同で考案した「みっちゃん大福」を50個以上販売しました。夏休みも伊方町を盛り上げるために様々な活動に取り組みました。今後も地域の方々に楽しんでいただけるように、力を入れて活動していきます。

